英検準2級プラス 第8回 解説

1 短文の語句空所補充

(1) 正答 2

revise

意味・語法：修正する。会場が使えなくなったため計画を修正する。

文意：大ホールが使えないと分かり、チームは計画を修正しなければならなかった。

(2) 正答 3

exit

意味・語法：出口。emergency exit = 非常口。箱でふさいではいけない。

文意：「ここに箱を置いても安全ですか」「いいえ。非常口をふさいでいます」

(3) 正答 4

purpose

意味・語法：目的。目指すことを述べる目的。賞獲得でなく子どもの音楽体験。

文意：クラブの目的は高価な賞を得ることでなく、地元の子どもに音楽を楽しんでもらうことだ。

(4) 正答 3

impressed

意味・語法：感銘を受けた。予想より大きな船を見て感銘を受けた。

文意：来訪者はもっと小さい物を想像していたため、古い船の大きさに驚き感銘を受けた。

(5) 正答 3

update

意味・語法：更新する。予定が変わったら情報を最新の状態にする。

文意：旅行予定が変わったなら、用紙の日付を更新してください。

英検準2級プラス 第8回 解説

1 短文の語句空所補充

(6) 正答 1

traditional

意味・語法：伝統的な。村で受け継がれてきた方法。

文意：「なぜこの籠は高いのですか」「村に伝わる伝統的な方法で手作りされているからです」

(7) 正答 2

limit

意味・語法：制限。place a limit on = ~ に制限を設ける。

文意：ホールが小さいため、学校は生徒一人が招待できる人数を制限した。

(8) 正答 1

listen

意味・語法：聞く。listen carefully = 注意深く聞く。

文意：案内人が機械の仕組みを説明する間、子どもたちは注意して聞くよう求められた。

(9) 正答 4

experience

意味・語法：経験。店で働いて学んだ経験。experiment は実験であり異なる。

文意：「店での初日はどうでしたか」「有益な経験で、客との話し方を学びました」

(10) 正答 4

hidden

意味・語法：隠された。雲で隠れて山頂が見えない。

文意：厚い雲に隠れていたため、山頂は見えなかった。

英検準2級プラス 第8回 解説

1 短文の語句空所補充

(11) 正答 3

decide on

意味・語法：~ に決める。decide on = ~ を選んで決める。印刷前に名称を確定する必要がある。

文意：「クラブ名は決まりましたか」「まだです。ポスター印刷前に一つに決める必要があります」

(12) 正答 2

of

意味・語法：~ する代わりに。instead of + 動名詞 = ~ する代わりに。公園の代わりに博物館へ行った。

文意：雨だったため、一行は公園の代わりに博物館に行った。

(13) 正答 4

using

意味・語法：使っている人。people using wheelchairs は「車椅子を使っている人」。現在分詞が people を後ろから修飾する。

文意：車椅子利用者が机の間を通れるよう、十分な空間を残してください。

(14) 正答 1

easy

意味・語法：気楽に。Take it easy. = 気楽に・落ち着いて。心配する相手を励ます定型表現。

文意：「発表が心配です」「気楽に。十分練習したし、私たちも助けます」

(15) 正答 2

no

意味・語法：すぐに。in no time = あっという間に。すばやく掃除を終えた。

文意：子どもたちは協力して部屋を掃除し、あっという間に終えた。

英検準2級プラス 第8回 解説

1 短文の語句空所補充

(16) 正答 1

could

意味・語法：~ できればいいのに。I wish + 主語 + could = ~ できればいいのに。現在の事実に反する願望。

文意：ピアノが弾ければいいのに。そうすれば友人のバンドに参加できる。

(17) 正答 2

than

意味・語法：~ するより。would rather A than B = BよりAしたい。ここでは take a bus と walk を対比する。

文意：「駅まで歩きましょうか」「足が痛いので、歩くよりバスに乗りたいです」

復習のポイント

正答を入れた文を読み、語句のまとまりと前後の論理を確認しましょう。前置詞・動名詞・比較などが問われる設問では、訳だけでなく文法上の形も説明できるようにします。

2 長文の語句空所補充

The Delivery That Took Two Journeys

(18) 正答 2

did not share the same needs for timing

第1段落。翌週用の贈物と緊急修理部品では、待てる時間が違う。

(19) 正答 3

travel created outside the delivery van itself

第2段落。利用者が別々に車で取りに行く移動も、計画全体の評価に含める。

(20) 正答 2

In this way

通常便・急ぎ便・便利な集荷点を設け、このようにして客が時間に合う方法を選べるようになった。

段落ごとの内容

第1段落：共同配送で資源節約を目指したが、一律金曜発送では贈物と緊急部品の納期差に対応できなかった。

第2段落：遠い倉庫への受取は各客の車移動を増やす可能性があり、配達車だけでなく全体の移動を見る必要があった。

第3段落：通常便と明確な料金の急ぎ便、普段の経路上の受取点を設け、客が注文時に適した方法を選べるようにした。

2 長文の語句空所補充

The Same Story in Two Voices

(21) 正答 3

could add meaning without changing the text

第1段落。同じ語でも間や速度、強調によって人物の意味合いが変わった。

(22) 正答 1

As a result

前後関係や人物の目的を考える必要があり、その結果精読の練習にもなった。

(23) 正答 1

related to details in the written work

最後。唯一の演じ方を強制しないが、選択には作品中の根拠が必要。

段落ごとの内容

第1段落：同じ物語でも声の間・速度・強調で人物像が変わり、言葉を変えずに意味を加えられると気付いた。

第2段落：同じ会話を2通りに演じる課題で、人物の目的や背景を考える精読も必要になった。

第3段落：解釈は一つに限定しないが、演じ方は本文の根拠と結び付け、無作為な効果と区別した。

3A Eメールの内容一致

(24) 正答 4

The portable goal.

第1段落。簡易ゴールだけは他団体が予約済みで貸せない。

(25) 正答 1

Staff will check the equipment with the borrower.

第2段落。出発前にスタッフと品物を確認するため、約15分を見込む。

(26) 正答 2

They should be washed and dried.

最終段落。シャツは洗って乾かして返す。破損は報告し、無断修理はしない。

メールの内容

第1段落：5月10日の運動会にコーン・柔らかい球・20枚の番号シャツは貸出可。ゴールは予約済みで不可。

第2段落：受取は5月9日16～18時。箱を積める車で来て、点検に15分見込む。貸出は無料だが不注意の紛失は弁償。

第3段落：最終品目は4月20日までに連絡し、5月12日正午までに返却。シャツは洗濯・乾燥し、破損は無断修理せず報告する。

読解の確認

申し込みや連絡の期限、実施日、集合と開始、持参する物と主催者が用意する物を区別する。条件付きの変更や代替案についても、誰が何をするのかを本文に戻って確認する。

3B 説明文の内容一致

A Stage beside the River

(27) 正答 3

The community hall needed extensive repairs.

第1段落。会館の大規模修理をきっかけに代替会場を検討した。

(28) 正答 4

The site was used in ways not obvious during the quiet morning.

第2段落。朝には分からなかった自転車や家族の日常利用を確認した。

(29) 正答 4

They chose a shorter program appropriate to the setting.

第3段落。単に音量を上げるのでなく、屋外向きの短い構成にし、静かな曲は後の屋内公演へ回した。

(30) 正答 1

How the event affected other users and whether signs worked.

最後。普段の利用者の移動や案内の分かりやすさも確認した。

(31) 正答 3

Adapting it to the place and respecting its existing uses.

結論。既存の利用と環境に合わせた調整が成功の鍵。

3B 本文の内容確認

A Stage beside the River

第1段落：会館の修理により、川辺での音楽会を提案した。屋外移転には会場特性に合わせる準備が必要だった。

第2段落：朝と午後で利用状況が違い、普段の移動を妨げないよう舞台位置や通路を変えて住民にも意見を求めた。

第3段落：風や騒音を考えて曲目を調整し、休憩所と荒天時の屋内代案も準備した。

第4段落：観客数だけでなく他の利用者の動線や案内も評価し、元から使われる場所として尊重することが重要だと分かった。

読み直しのポイント

最初の目的、その後分かった事実、対応や変更、最後の結論をつなげて読む。正しい選択肢は本文の言い換えになっていることがある。本文の一部分だけが合っていても、時期・対象・理由が違えば選ばない。

4 英文要約

解答例（27語）

Quiet office rooms can reduce interruptions and support difficult work. However, limited space may be used repeatedly by a few workers, so companies need fair booking arrangements.

要約する内容

導入：仕組み・取組

Some companies allow workers to use a quiet room when they need to concentrate. Employees can reserve it for tasks such as checking long documents or preparing presentations.

利点

A separate space can reduce interruptions and help people finish difficult work. It may be especially useful in offices where many employees share one large room.

課題・注意点

However, there may be more people who want the room than available booking times. If a few workers reserve it repeatedly, others may have little access. Companies need fair arrangements for using the shared space.

答案の確認

仕組み・利点・課題を偏りなくまとめる。細部の例を全て列挙せず、自分の賛否や本文にない主張を足さない。25～35語に収め、主語・動詞・単複・綴りを見直す。

5 英作文

Do you think towns should hold more outdoor cultural events?

賛成の解答例（54語）

Yes, I do. First, outdoor events can reach people who do not usually visit concert halls or museums. Someone walking past may discover an interesting performance. Second, these events can bring neighbors together. However, organizers should keep paths open and avoid disturbing nearby homes. Good planning can make public activities enjoyable for different people.

反対の解答例（55語）

No, I do not think more outdoor events are always needed. First, bad weather can make performances difficult and waste preparation. Second, noise and crowds may disturb people who live nearby. Towns should improve existing indoor activities and consider outdoor events only when there is a suitable place and enough support to organize them responsibly.

理由の構成

どちらの立場も可能です。解答例では立場を示してから First と Second で異なる2つの理由を述べ、具体的な説明を加えています。自分で書くときも、同じ理由の言い換えを2つ並べるのではなく、別の観点を選びます。

最終確認

50 ~ 60語 / 質問に合う立場 / 理由を2つ / 短い具体的な説明 / 主語と動詞の一致。解答例は一例であり、同じ表現を使う必要はありません。